

# 2021年3月期 決算補足説明資料

2021年5月14日  
株式会社ナック  
東証一部 9788



注) IR説明会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止いたします。  
この資料は、2021年3月期決算をよりご理解いただくために、参考までに作成している資料です。

# 本資料の記載内容

- |                   |   |      |
|-------------------|---|------|
| 1. 2021年3月期決算概要   | … | P. 2 |
| 2. セグメント別業績       | … | P.10 |
| 3. 2022年3月期連結業績予想 | … | P.21 |
| 4. 配当方針           | … | P.25 |
| 5. 中期経営計画         | … | P.27 |
| 6. 補足資料           | … | P.32 |

この配付資料に記載されている業績目標等はいずれも、当社グループが現時点で入手可能な情報を基にした予想値であり、これらは経済環境、競争状況、新サービスの成否、また新型コロナウイルス感染症などの不確実な要因の影響を受けます。

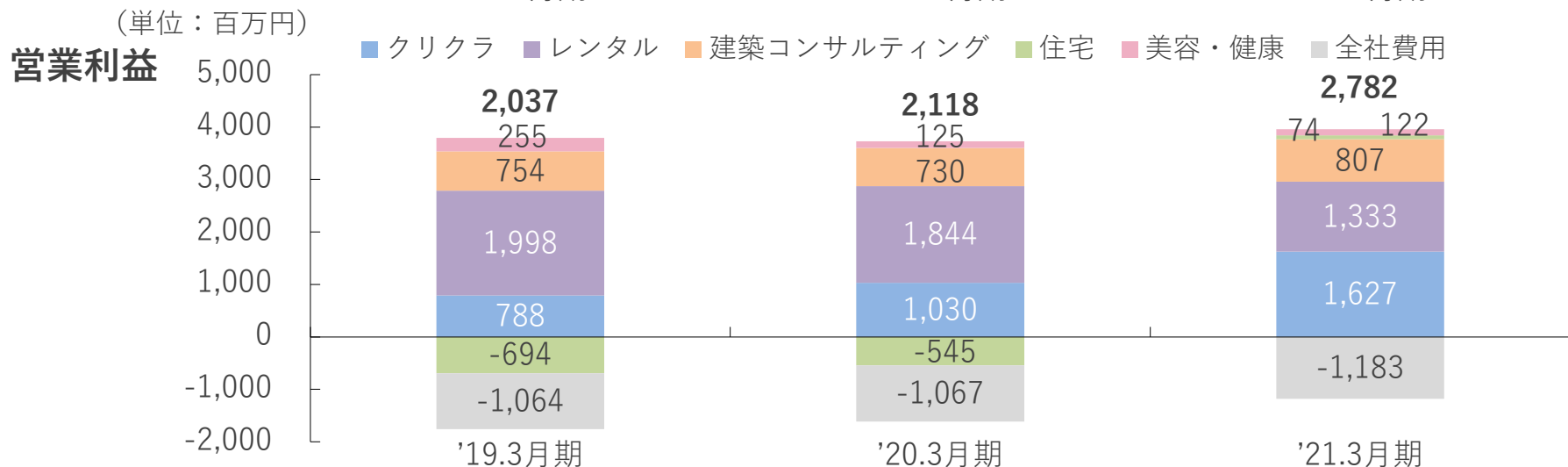
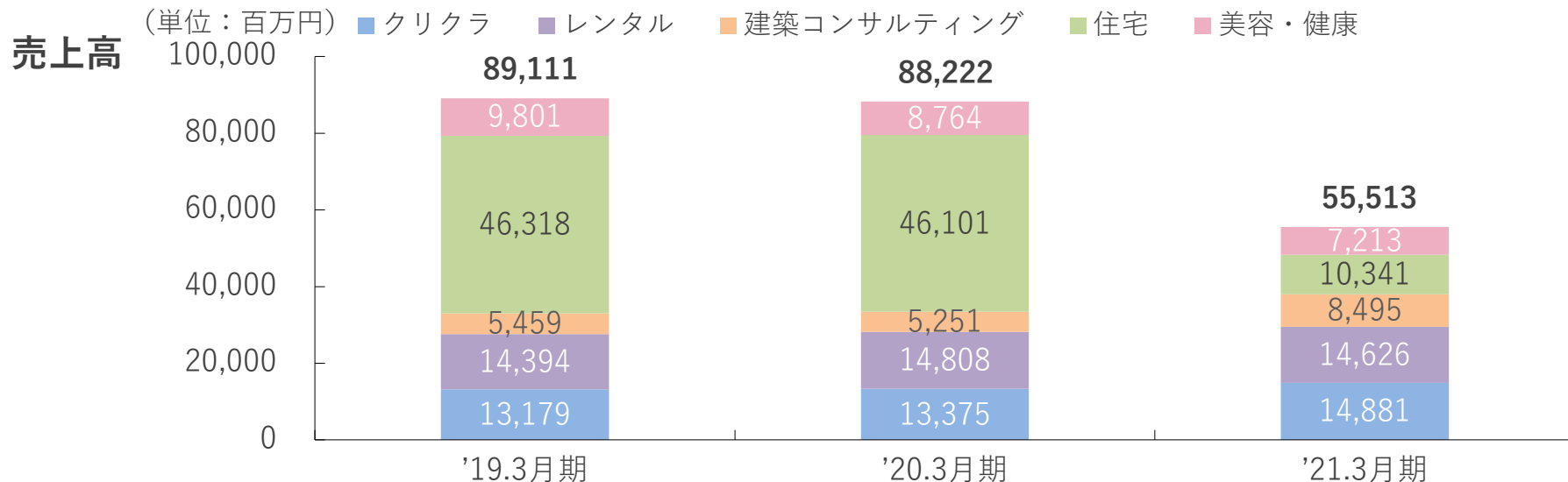
従って、実際の業績はこの配付資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おき下さい。

# 1. 2021年3月期決算概要

---

# 1 2021年3月期 通期：売上高・営業利益3期比較

※ 売上高の数値は、消去調整他を含めていないため、合計値と内訳の合計値は一致していません。



※ 売上高は、主に住宅事業におけるレオハウスの連結範囲からの除外により、前期を下回った。（'21.3月期レオハウス売上高35,124百万円）

※ 営業利益は、前期に計上していたレオハウスの損失除外やクリクラ事業の大幅伸長、建築コンサルティング事業部における前期に子会社化したエースホームとの共同開発商品の販売好調等により、前期を上回った。（'21.3月期レオハウス営業損失357百万円）

# 1 2021年3月期 通期：連結損益計算書

※ '21.3月期の計画は2020年9月14日発表のものです。

(単位：百万円)

	'21.3月期 実績	計画比		前期比	
		'21.3月期計画 (9月14日)	達成率	'20.3月期 実績	増減率
売上高	55,513	56,000	99.1 %	88,222	▲ 37.1 %
売上総利益	27,450	-	-	32,189	▲ 14.7 %
(売上総利益率)	49.4 %	-	-	36.5 %	+ 13.0 pt
販売費及び 一般管理費	24,668	-	-	30,071	▲ 18.0 %
営業利益	2,782	2,000	139.1 %	2,118	31.3 %
(営業利益率)	5.0 %	3.6 %	+ 1.4 pt	2.4 %	+ 2.6 pt
営業外損益	▲ 98	-	-	▲ 19	-
経常利益	2,683	1,900	141.2 %	2,098	27.9 %
特別損益	▲ 534	-	-	▲ 688	-
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,837	1,350	136.1 %	514	257.5 %

▶ 売上高は、住宅事業、美容・健康事業において減少したことで計画・前期を下回った。

▶ 営業利益は、クリクラ事業における次亜塩素酸水溶液「ZiACO（ジアコ）」ならびにレンタル事業（ダスキン事業）における感染症対策関連商品の販売好調等や、住宅事業におけるレオハウスの連結範囲からの除外により、計画・前期を上回った。

▶ 親会社株主に帰属する当期純利益は、営業利益の増加により、計画・前期を上回った。

## 1 セグメント別：売上高

※ '21.3月期の計画は2020年10月30日発表のものです。

(単位：百万円)

	'21.3月期 実績	計画比		前期比	
		'21.3月期計画 (10月30日)	計画比	'20.3月期 実績	前期比
ク リ ク ラ 事 業	14,881	14,500	+ 381	13,375	+ 1,506
レ ン タ ル 事 業	14,626	14,100	+ 526	14,808	▲ 182
建築コンサルティング事業	8,495	9,000	▲ 505	5,251	+ 3,243
住 宅 事 業	10,341	10,000	+ 341	46,101	▲ 35,759
美 容 ・ 健 康 事 業	7,213	8,400	▲ 1,187	8,764	▲ 1,550
消 去 調 整 他	▲ 45	-	▲ 45	▲ 80	+ 34
合 計	55,513	56,000	▲ 487	88,222	▲ 32,708

- ▶ クリクラ事業では、クリクラボトルの価格改定に加え、感染症の影響により次亜塩素酸水溶液「ZiACO(ジアコ)」の売上高が伸長したこと、加盟店部門において新型サーバー上市に伴いクリクラサーバー販売数が前期比で増加したことにより、計画・前期を上回った。
- ▶ レンタル事業では、利益率の高い害虫駆除事業において主要顧客である大都市圏の飲食店業界が感染症の影響を受けたことにより、大幅に売上高が減少し、計画を上回ったものの、前期を下回った。
- ▶ 建築コンサルティング事業では、計画を下回ったものの、前期に子会社化したエースホームとの共同開発商品の販売好調等により、前期を上回った。
- ▶ 住宅事業では、計画を上回ったものの、レオハウスの連結範囲からの除外に伴い、前期を下回った。
- ▶ 美容・健康事業では、コロナ禍での化粧品業界全体の低迷と、JIMOSにおける自社ECサイトにおいて使用しているサーバーへの不正アクセスが発覚し、約4カ月間ECサイトを停止したことによる顧客数減少が影響し、計画・前期を下回った。

# 1 セグメント別：営業利益

※ カッコ内の数字は売上高に対する営業利益率です。また、'21.3月期の計画は2020年10月30日発表のものです。

(単位：百万円)

	'21.3月期 実績	計画比		前期比	
		'21.3月期計画 (10月30日)	計画比	'20.3月期 実績	前期比
ク リ ク ラ 事 業	1,627 (10.9 %)	1,300 (9.0 %)	+ 327 (+ 2.0 pt)	1,030 (7.7 %)	+ 596 (+ 3.2 pt)
レ ン タ ル 事 業	1,333 (9.1 %)	1,300 (9.2 %)	+ 33 (▲ 0.1 pt)	1,844 (12.5 %)	▲ 511 (▲ 3.3 pt)
建築コンサルティング事業	807 (9.5 %)	750 (8.3 %)	+ 57 (+ 1.2 pt)	730 (13.9 %)	+ 76 (▲ 4.4 pt)
住 宅 事 業	74 (0.7 %)	▲ 100 (▲ 1.0 %)	+ 174 (+ 1.7 pt)	▲ 545 (▲ 1.2 %)	+ 620 (+ 1.9 pt)
美 容 ・ 健 康 事 業	122 (1.7 %)	50 (0.6 %)	+ 72 (+ 1.1 pt)	125 (1.4 %)	▲ 2 (+ 0.3 pt)
全 社 費 用 等	▲ 1,183	▲ 1,300	+ 117	▲ 1,067	▲ 115
合 計	2,782 (5.0 %)	2,000 (3.6 %)	+ 782 (+ 1.4 pt)	2,118 (2.4 %)	+ 663 (+ 2.6 pt)

- » クリクラ事業では、直営・加盟店両部門において売上高が伸長したことにより、計画・前期を上回った。
- » レンタル事業では、計画を上回ったものの、利益率の高い害虫駆除事業の売上高減少と、ダスキン事業における新規出店と販売促進体制強化のために販売費及び一般管理費が増加したことで、前期を下回った。
- » 建築コンサルティング事業では、ノウハウ販売部門の売上高増加が寄与し、計画・前期を上回った。
- » 住宅事業では、レオハウスの連結範囲からの除外に伴い、同社の業績数値（前期営業損失計上）を当社グループの連結業績から除外したことで、計画・前期を上回った。
- » 美容・健康事業では、売上高減少に伴う売上総利益減少を、広告宣伝費及び販売促進費を中心とした販売費及び一般管理費の削減で補い計画を上回ったものの、前期を下回った。

# 1 営業利益の増減要因

(単位：百万円)

			前期比増加率
<b>2020年3月期 営業利益</b>		2,118	-
①売上総利益		▲ 4,739	▲ 14.7 %
※ ②販売費及び一般管理費の増減	人 件 費	+ 1,877	+ 17.0 %
	広告宣伝費及び販売促進費	+ 1,112	+ 27.1 %
	地 代 家 賃	+ 547	+ 26.0 %
	減価償却費・のれん償却費	+ 461	+ 31.0 %
	支 払 手 数 料	+ 73	+ 5.5 %
	そ の 他 販 管 費	+ 1,331	+ 13.3 %
<b>2021年3月期 営業利益</b>		2,782	+ 31.3 %

※販管費の増減額について,+は損益の増加/▲は損益の減少

## ① 売上総利益の減少理由

≫ レオハウスの連結範囲からの除外により売上高が減少したことによる。

## ② 販売費及び一般管理費の増減理由

≫ 販管費総額の減少は、主にレオハウスの連結範囲からの除外に伴い、同社の業績数値を当社グループの連結業績から除外したことによるが、広告宣伝費及び販売促進費の減少は、レオハウスの減少分に加え、JIMOSにおいても削減したことが大きく影響している。



# 1 2021年3月期 通期：連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2021年 3月末	構成比	2020年 3月末	構成比	増減額
流動資産	26,204	64.2 %	28,858	62.1 %	▲ 2,653
有形固定資産	8,841	21.6 %	10,615	22.9 %	▲ 1,774
無形固定資産	1,679	4.1 %	2,253	4.9 %	▲ 574
投資その他の資産	4,098	10.0 %	4,626	10.0 %	▲ 528
固定資産計	14,619	35.8 %	17,496	37.7 %	▲ 2,876
繰延資産合計	23	0.1 %	78	0.2 %	▲ 55
資産合計	40,847	100.0 %	46,433	100.0 %	▲ 5,585

流動負債	13,619	33.3 %	20,125	43.3 %	▲ 6,505
固定負債	5,872	14.4 %	6,499	14.0 %	▲ 627
負債合計	19,492	47.7 %	26,625	57.3 %	▲ 7,133
株主資本	21,960	53.8 %	20,601	44.4 %	+ 1,358
その他の包括利益累計額	▲ 662	▲ 1.6 %	▲ 844	▲ 1.8 %	+ 181
非支配株主持分	57	0.1 %	50	0.1 %	+ 6
純資産合計	21,355	52.1 %	19,808	42.7 %	+ 1,547
負債・純資産合計	40,847	100.0 %	46,433	100.0 %	▲ 5,585

## 主な増減要因

■ 流動資産：現金及び預金 + 5,073 販売用不動産 ▲ 2,890 未成工事支出金 ▲ 1,435

■ 固定資産：建物及び構築物 ▲ 2,039 差入保証金 ▲ 456 のれん ▲ 562

■ 流動負債：買掛金 ▲ 2,822 未成工事受入金 ▲ 2,419

■ 固定負債：資産除去債務 ▲ 440 長期借入金 ▲ 340

自己資本比率：52.1 %

# 1 2021年3月期 通期：連結キャッシュフロー

(単位：百万円)

	'21.3月期 実績	'20.3月期 実績	増減額
1.営業活動によるCF	6,454	2,488	3,966
2.投資活動によるCF	▲ 1,448	▲ 1,706	257
3.財務活動によるCF	54	▲ 857	912
現金及び現金同等物の増減額	5,060	▲ 75	5,136
現金及び現金同等物の期首残高	9,115	9,167	▲ 52
新規連結等に伴う現金及び現金同等物の増加額	11	22	▲ 10
現金及び現金同等物の期末残高	14,188	9,115	5,073
減価償却費	1,007	1,374	▲ 366

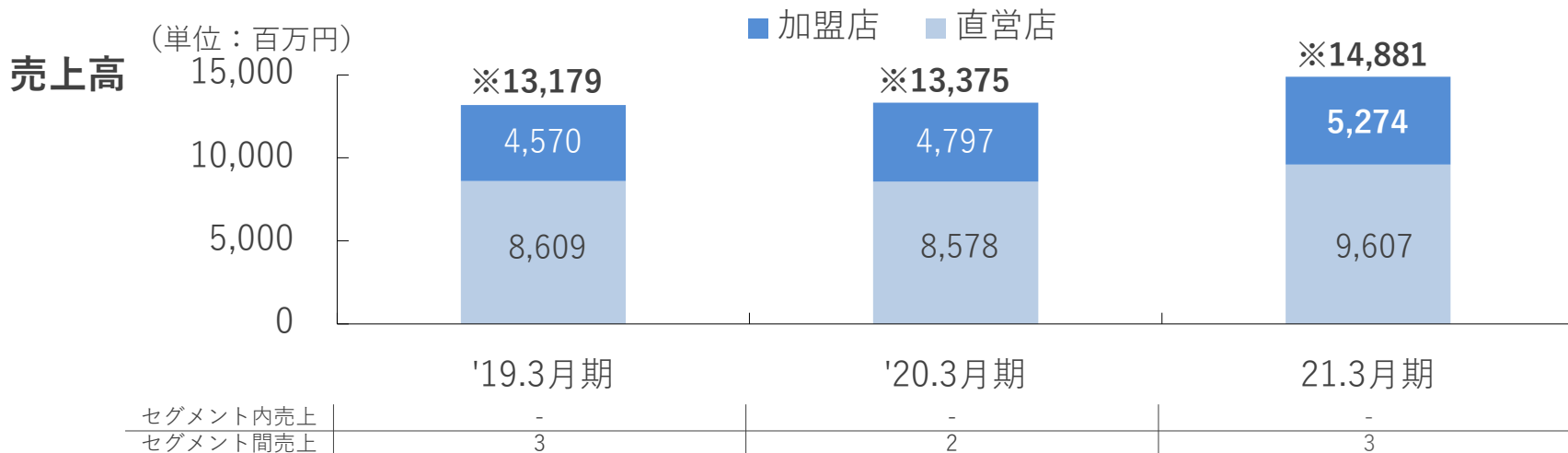
## 当期の主な要因

- 営業活動：短期貸付金の減少額 2,172百万円 税金等調整前当期純利益 2,149百万円 減価償却費 1,007百万円  
たな卸し資産の減少額 976百万円
- 投資活動：連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出 ▲ 809百万円 無形固定資産の取得による支出 ▲ 344百万円  
有形固定資産の取得による支出 ▲ 260百万円
- 財務活動：セール・アンド・リースバックによる収入 1,046百万円 配当金の支払額 ▲ 495百万円

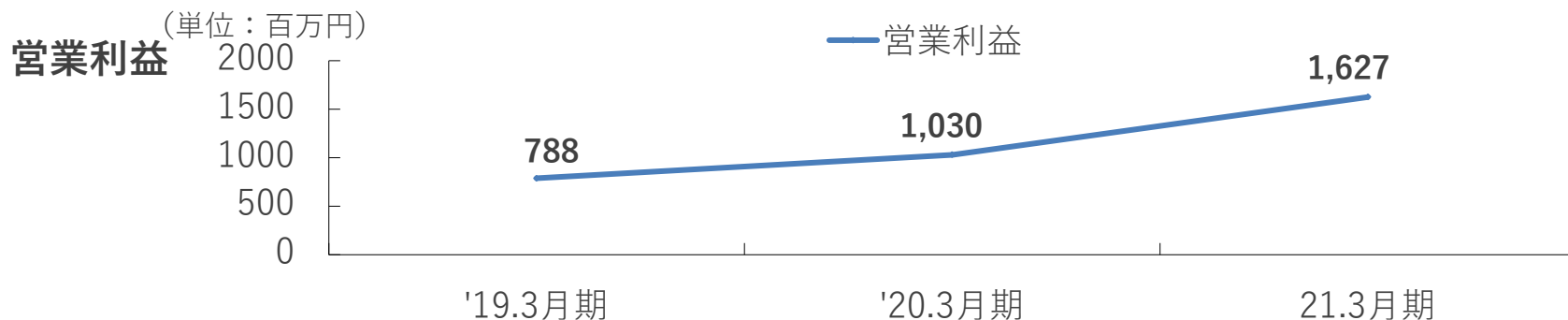
## 2. セグメント別業績

---

## 2 セグメント別業績（1）クリクラ事業 ①



- » 直営部門・加盟店部門ともに、クリクラボトルの価格改定と次亜塩素酸水溶液「ZiACO（ジアコ）」の売上高が大幅に伸長したことにより、前期比で大幅に増加した。
- » 直営部門では、上記要因に加え、在宅時間増加による家庭顧客の需要増加に伴いクリクラサーバー1台あたりのボトル消費量が増加し、前期比で増加した。
- » 加盟店部門では、上記要因に加え、クリクラサーバー販売台数が増加したことで、前期比で増加した。



- » 損益面では、直営・加盟店両部門において、売上高が増加したことで、営業利益が前期比で大幅に増加した。

## 2 セグメント別業績（1）クリクラ事業 ②

（単位：百万円）

（単位：百万円）

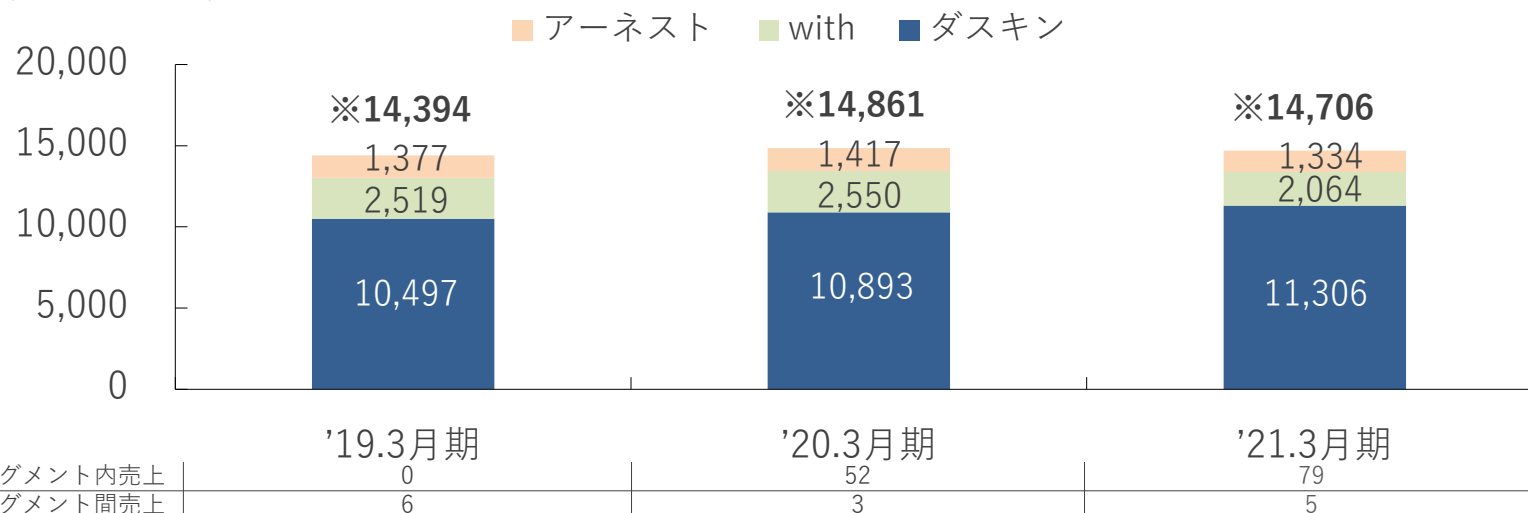


※ '20.3月期までは、第1四半期にテレビCMなどの販促費を増加し、第2四半期以降で利益が高まる傾向。当期ではコロナ禍で需要が伸びたことにより、四半期総じて利益が高くなっている。

## 2 セグメント別業績（2）レンタル事業 ①

(単位：百万円)

売上高

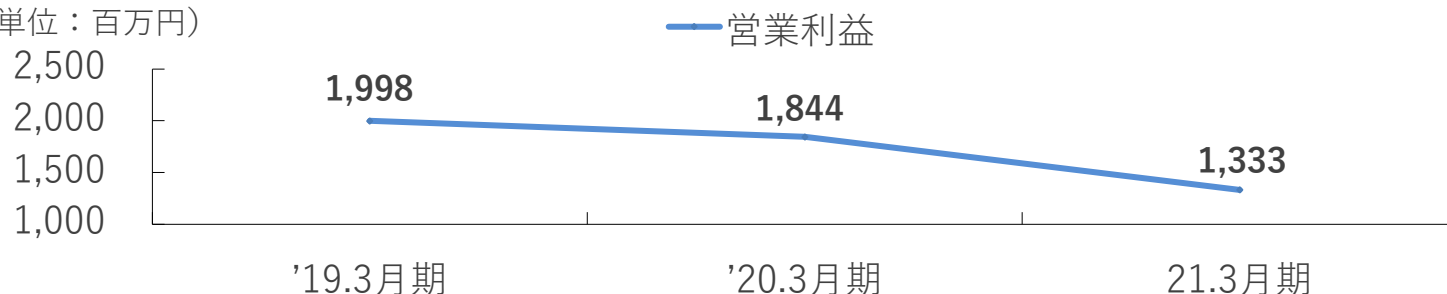


※グラフの数値は上記セグメント内売上とセグメント間売上を含む。(単位：百万円)

- ダスキン事業では、ダストコントロール商品部門において、感染症対策関連商品を積極的に提案したことと、ケアサービス部門における事業数追加により、前期比で増加した。
- 害虫駆除事業では、主要顧客である大都市圏の飲食店業界が時短営業や休業を余儀なくされたことにより、前期比で大幅に減少した。
- アーネスト(法人向け定期清掃サービス)では、商業施設やオフィスなどの時短営業や休業により、前期比で減少した。

営業利益

(単位：百万円)

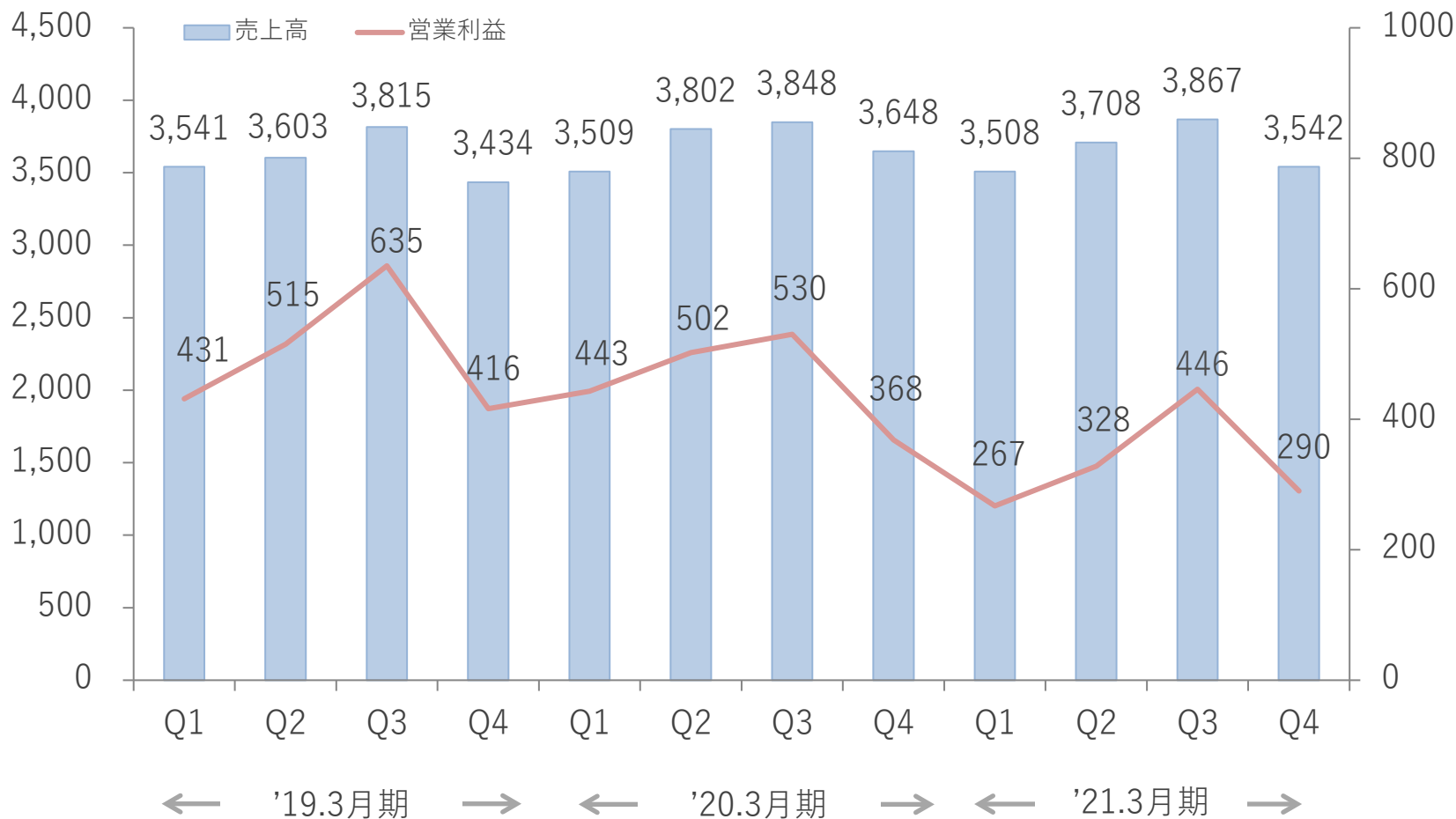


- 損益面では、利益率の高い害虫駆除事業における売上高が大幅に減少したことと、ダスキン事業における販売促進活動強化による販売費及び一般管理費の増加により、営業利益が前期比で減少した。

## 2 セグメント別業績（2） レンタル事業 ②

（単位：百万円）

（単位：百万円）

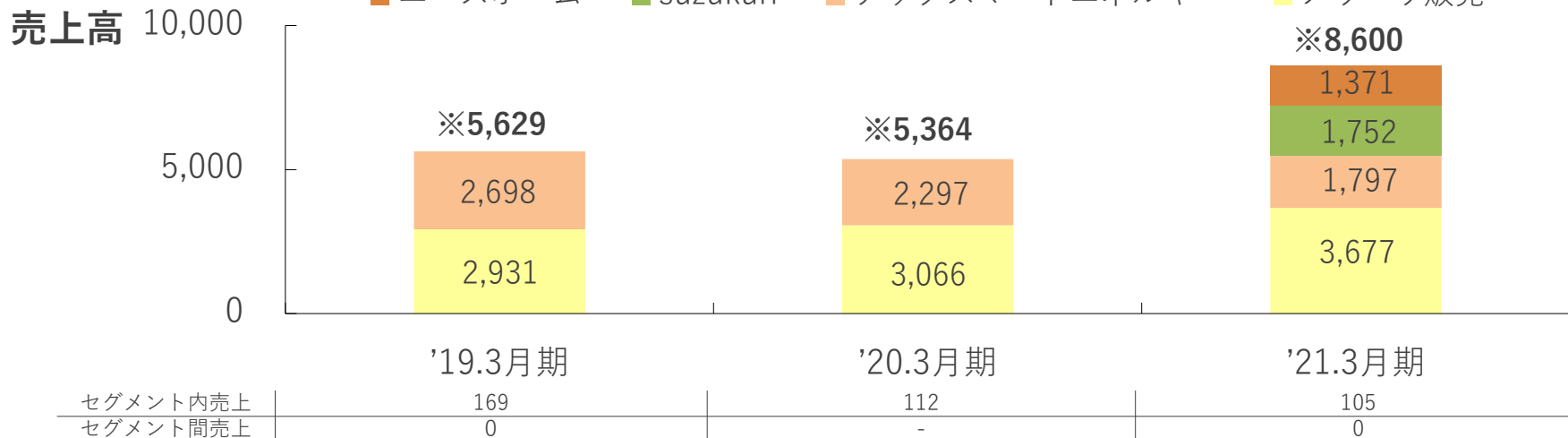


※ 一年を通じて売上高・営業利益が安定する傾向。  
 当期では感染症の影響により、利益率の高い害虫駆除事業での大幅な売上高減少が響き、  
 営業利益の落ち込みが目立っている。

## 2 セグメント別業績（3）建築コンサルティング事業 ①

※ 2020年4月より、エコ&エコがナックススマートエネルギーに社名変更し、suzukuriを住宅事業セグメントから建築コンサルティング事業セグメントに移管しました。なお、'20.3月期まで表示していた部資材販売はノウハウ販売とナックススマートエネルギーに含めています。

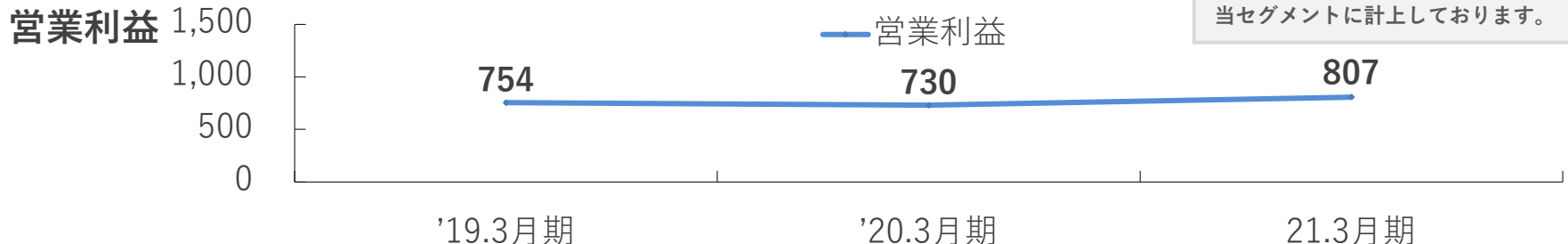
(単位：百万円)



※グラフの数値は上記セグメント内売上とセグメント間売上を含む。(単位：百万円)

- ▶ ノウハウ販売部門では、感染症の影響により販売促進セミナーや訪問の自粛を余儀なくされた一方、会員に向けたサポート強化が奏功し、前期比で増加した。
- ▶ ナックススマートエネルギーでは、感染症の影響で発生した一部の着工遅れが響き、前期比で大幅に減少した。

(単位：百万円)



- ▶ 損益面では、suzukuriとナックススマートエネルギーが赤字計上となったものの、ノウハウ販売部門の売上高増が寄与し、営業利益は前期比で増加した。



## 2 セグメント別業績（3）建築コンサルティング事業 ②

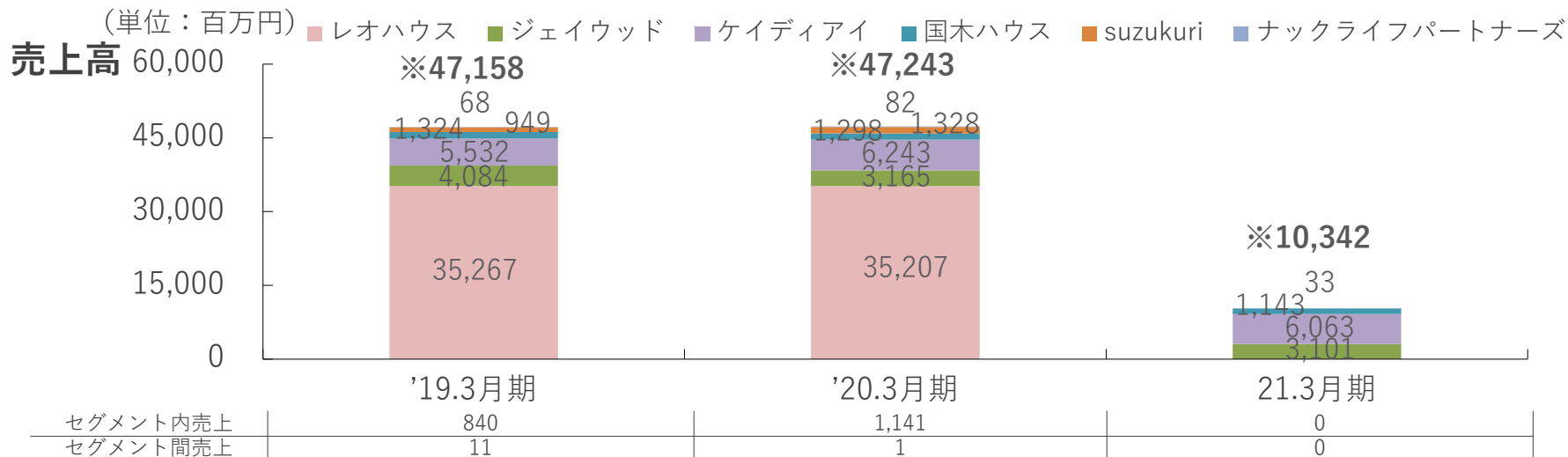
（単位：百万円）



※ 住宅市場がメインターゲットとなるため、売上高・営業利益ともに、第4四半期に集中する傾向。  
suzukuriとエースホームが当事業セグメントに加わったことでこの傾向が強まっている。

## 2 セグメント別業績（４）住宅事業 ①

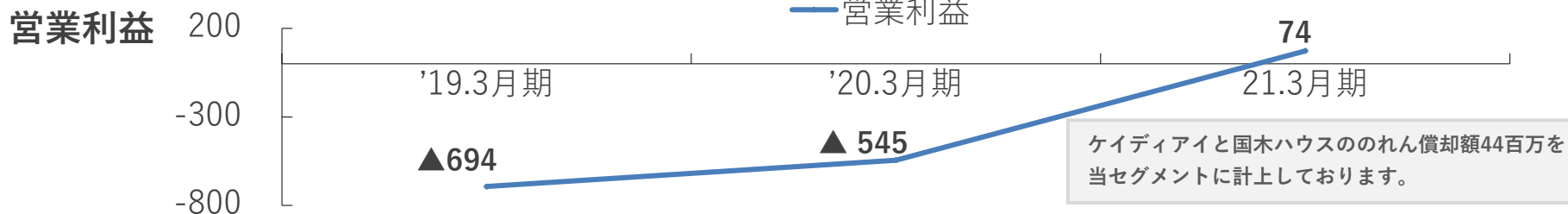
※ 当社は2020年5月14日にレオハウスの全株式を譲渡したため、今期初より同社の実績を連結範囲から除外しています。  
また、suzukuriを住宅事業セグメントから建築コンサルティング事業セグメントに移管しました。  
なお当第2四半期より、前期までレオハウスに含めていた、住宅ローンのつなぎ融資を主とする子会社「ナックライフパートナーズ」を表記しています。



※ グラフの数値は上記セグメント内売上とセグメント間売上を含む。(単位：百万円)

- ▶ レオハウスの全株式譲渡に伴い、同社売上高が前期比で大幅に減少した。
- ▶ ケイディアイでは、前期比でほぼ同水準（微減）を維持した。
- ▶ ジェイウッドでは、移動モデルハウスの売却など土地販売件数の減少により、前期比で減少した。
- ▶ 国木ハウスでは、住宅の受注棟数が伸長した一方で完工棟数が減少したことにより、前期比で減少した。

(単位：百万円)

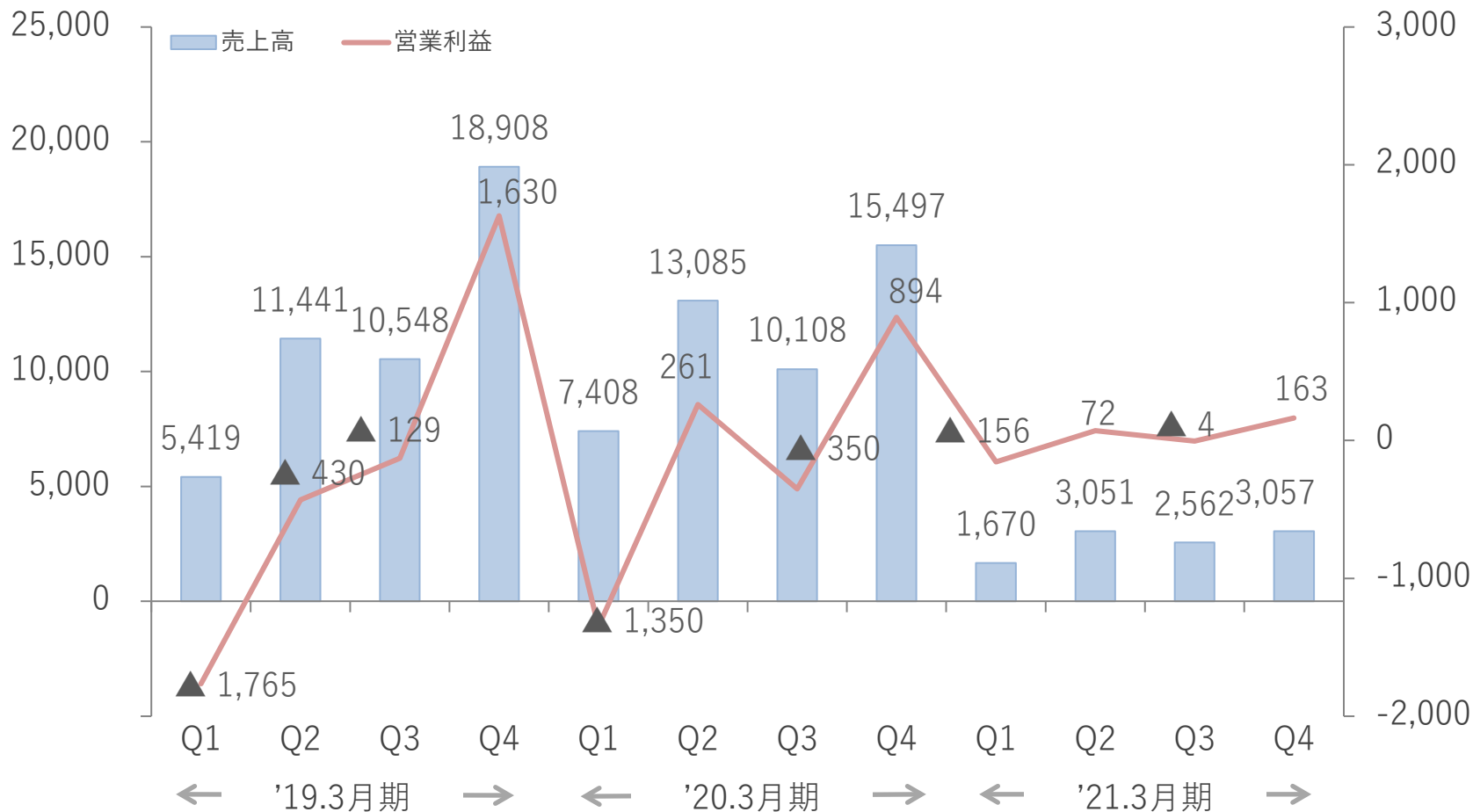


- ▶ 損益面では、レオハウスの連結範囲からの除外に伴い、同社の業績数値（前期営業損失計上）を当社グループの連結業績から除外したことにより、営業損失が前期比で減少した。

## 2 セグメント別業績（4）住宅事業 ②

（単位：百万円）

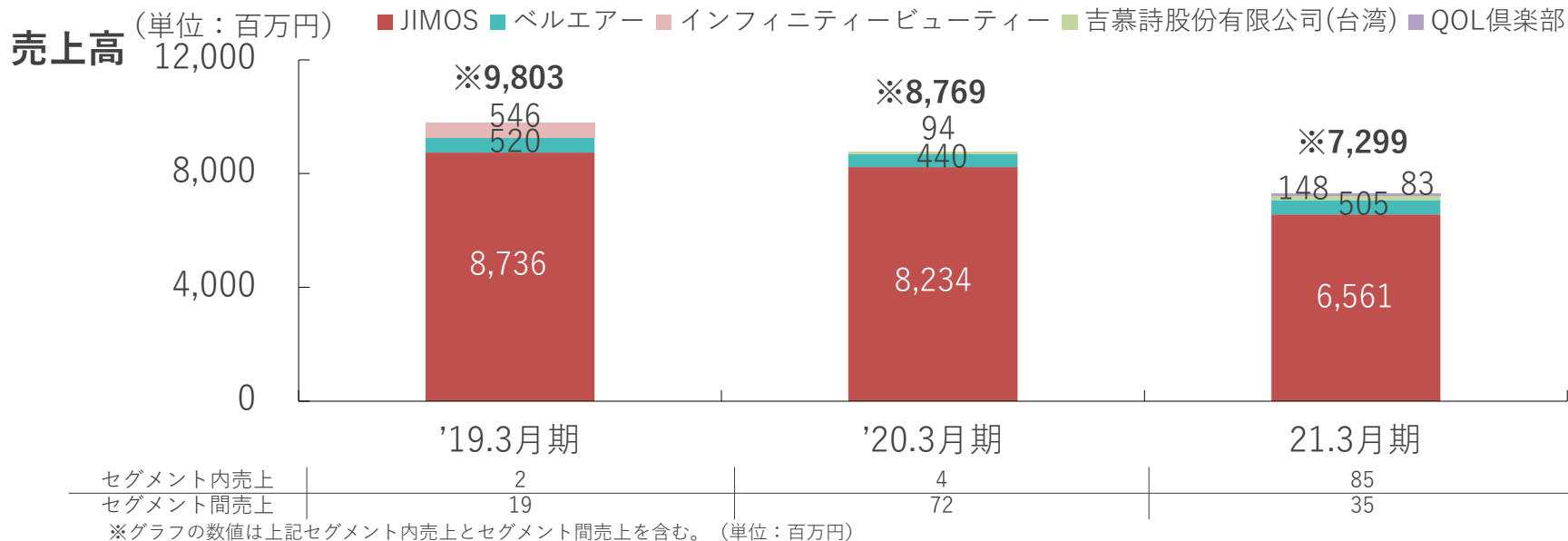
（単位：百万円）



≫ '20.3月期までは、住宅の引渡しが集中する第4四半期に売上高・営業利益が高まる傾向。レオハウスの全株式譲渡に伴い事業規模が縮小しているが、同様の傾向は継続している。

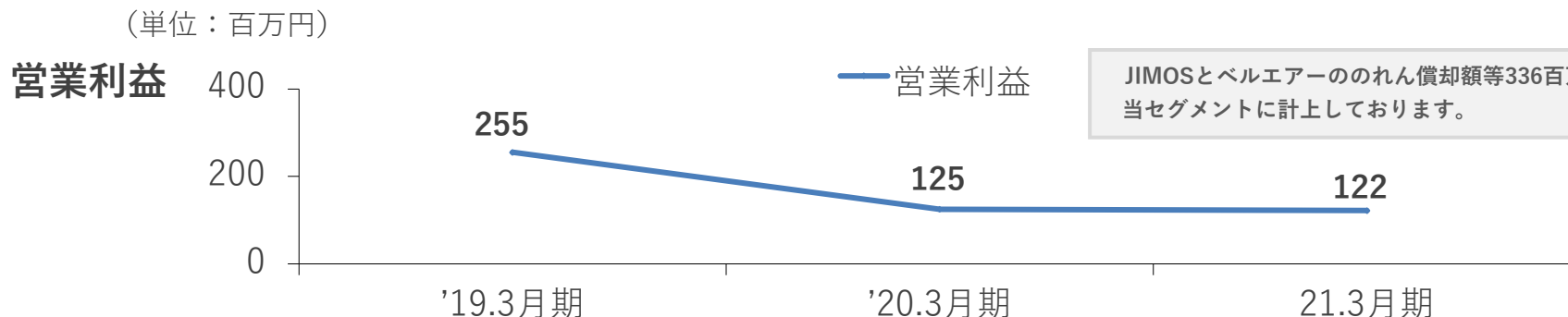
## 2 セグメント別業績（5）美容・健康事業 ①

※ ベルエアーの決算期変更に伴い、'21.3月期のベルエアー売上高の数値は15カ月間での数値となります。



≫ JIMOSでは、自社ECサイトにおいて使用しているサーバーへの不正アクセスが発覚し、2019年8月より約4カ月間ECサイトを停止したことによる顧客数減少と、コロナ禍における化粧品業界全体の低迷が響いたことにより、前期比で減少した。

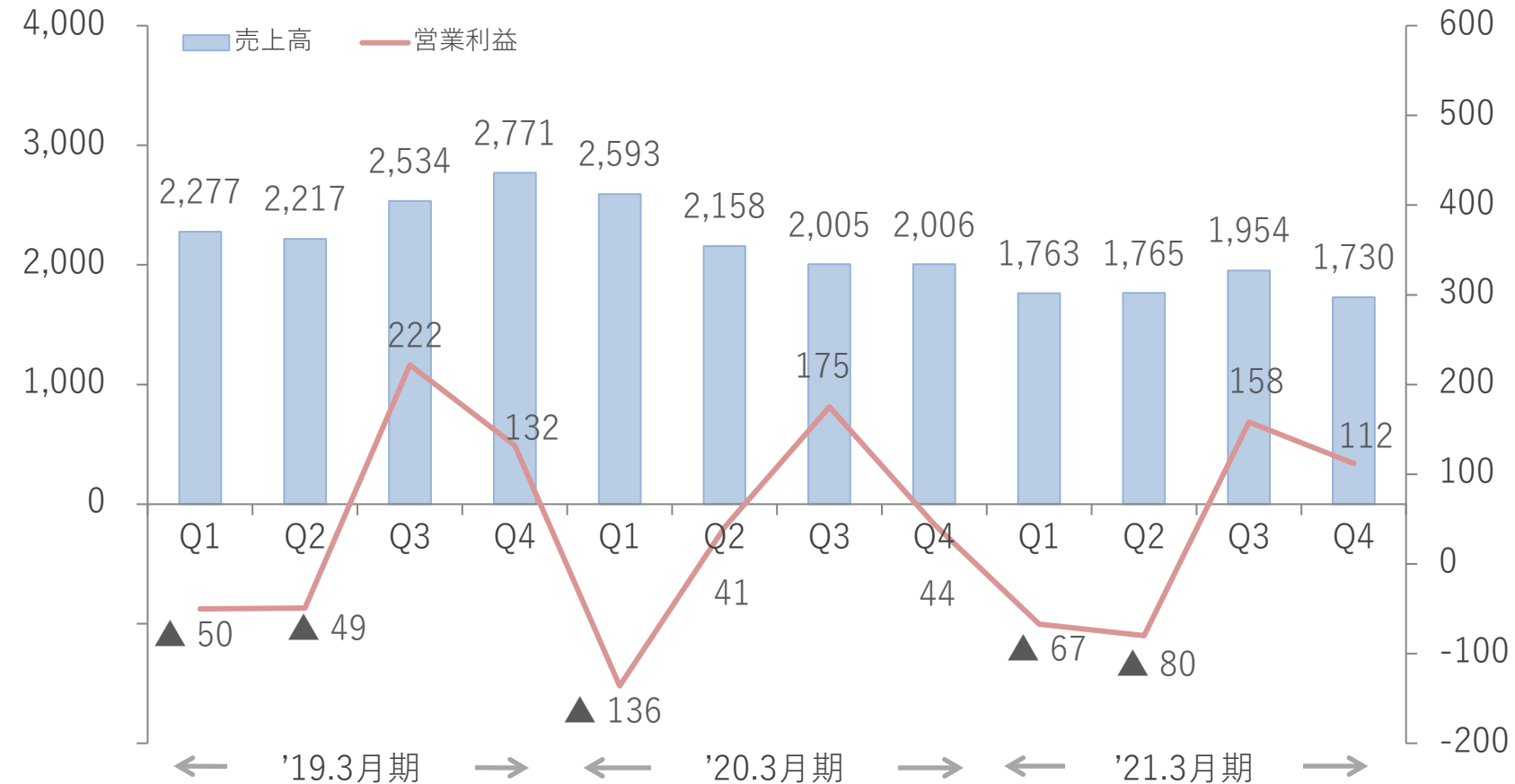
≫ ベルエアーでは、美容健康雑貨等の販売拡大に取り組んだものの、前期比で減少した。('19.12月期と'20.12月期の比較)



≫ 損益面では、JIMOSとベルエアーにおいて、販売費及び一般管理費の削減に取り組んだが、JIMOSの売上高の減少に伴い、営業利益は前期比で減少した。

## 2 セグメント別業績（5）美容・健康事業 ②

(単位：百万円)



» 上期に販売促進費を増やし、下期に売上高・営業利益が高まる傾向。

## 3. 2022年3月期 連結業績予想

---

3 2022年3月期 セグメント別：売上高予想

(単位：百万円)

売 上 高	'21.3月期 実績	'22.3月期 予想	増減率
ク リ ク ラ 事 業	14,881	16,100	+ 7.5 %
レ ン タ ル 事 業	14,626	15,100	+ 3.2 %
建築コンサルティング事業	8,495	8,800	+ 3.6 %
住 宅 事 業	10,341	11,100	+ 7.3 %
美 容 ・ 健 康 事 業	7,213	6,500	▲ 9.9 %
消 去 調 整 他	▲ 45	-	-
合 計	55,513	57,600	+ 3.8 %

## 3 2022年3月期 セグメント別：営業利益予想

※ カッコ内の数字は売上高に対する営業利益率です。

(単位：百万円)

営 業 利 益	'21.3月期 実績	'22.3月期 予想	増減率
ク リ ク ラ 事 業	1,627 (10.9 %)	1,500 (9.3 %)	▲ 7.8 % (▲ 1.6 pt)
レ ン タ ル 事 業	1,333 (9.1 %)	1,300 (8.6 %)	▲ 2.5 % (▲ 0.9 pt)
建築コンサルティング事業	807 (9.5 %)	900 (10.2 %)	+ 11.5 % (+ 0.7 pt)
住 宅 事 業	74 (0.7 %)	150 (1.4 %)	+ 102.7 % (+ 0.7 pt)
美 容 ・ 健 康 事 業	122 (1.7 %)	200 (3.0 %)	+ 63.9 % (+ 1.3pt)
全 社 費 用 等 (新規・M&Aを含む)	▲ 1,183	▲ 1,450	—
合 計	2,782 (5.0 %)	2,600 (4.5 %)	▲ 6.5 % (▲ 0.5 pt)



### レンタル

【ダスキンとの資本業務提携による計画推進】

- ⇒ ケアサービス部門：提携後の46事業追加に加え、21事業を追加
- ⇒ ヘルスレント部門：提携後の新規2店舗出店に加え、新たに2店舗を出店

【ダスキン事業（ダストコントロール商品部門）】

- ⇒ ダスキン加盟店のM&Aを推進

【害虫駆除（with）事業】

- ⇒ 除菌・衛生分野の新たな市場開拓での販路拡大

### 建築コンサルティング

【ノウハウ販売】

- ⇒ 工務店の価値最大化を図ることを目的に、DXおよびVRによる非対面型の新たなサービスを提供

【ナックススマートエネルギー】

- ⇒ 国や自治体の省エネ施策が軸足を置く住宅市場への販売促進活動を強化

【エースホーム】

- ⇒ 事業間シナジーを創出する住宅商品の追加

### クリクラ

【クリクラ事業】

- ⇒ 新商品の提供や、商業施設等での催事営業、テレアポ営業の積極化による新規獲得強化および解約防止
- ⇒ ZiACOのブランド強化と生産キャパシティの拡大、生産性向上を目的に、新規投資を実施

### 住宅

【ジェイウッド】

- ⇒ 吸収合併した国木ハウスを含む2社の経営資源集中と経営効率化を図るとともに、双方の強みを活かした事業を展開

【ケイディアイ】

- ⇒ 売上高増加と収益性強化を目的とする営業エリア拡大の進行

### 美容・健康

【JIMOS】

- ⇒ 基礎化粧品の機能強化等による新規顧客獲得および新ブランドの浸透。

【ベルエアー】

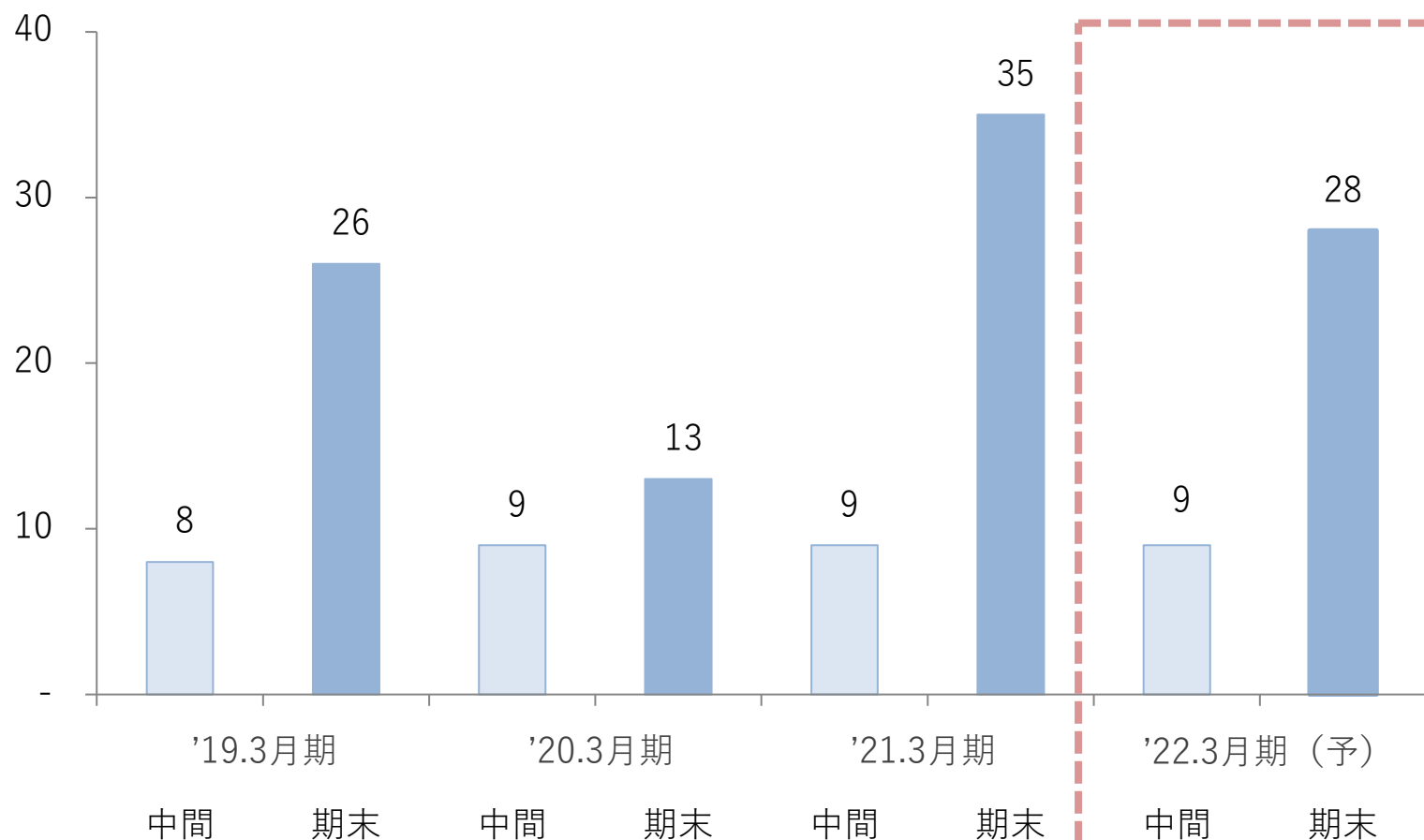
- ⇒ 販路拡大を目的とする販売形態の多様化と、それに伴う一般市場向けの製品開発

## 4. 配当方針

---

4 配当方針：純資産配当率(DOE) 4 %かつ配当性向100%以内

(単位：円)



1株あたり  
年間配当額

34円

22円

44円

37円

≫ 2021年3月期期末配当には50周年記念配当8円を含む。

## 5. 中期経営計画

---

5 基本戦略

環境

住宅事業への依存割合低下による  
グループ事業構造の変化

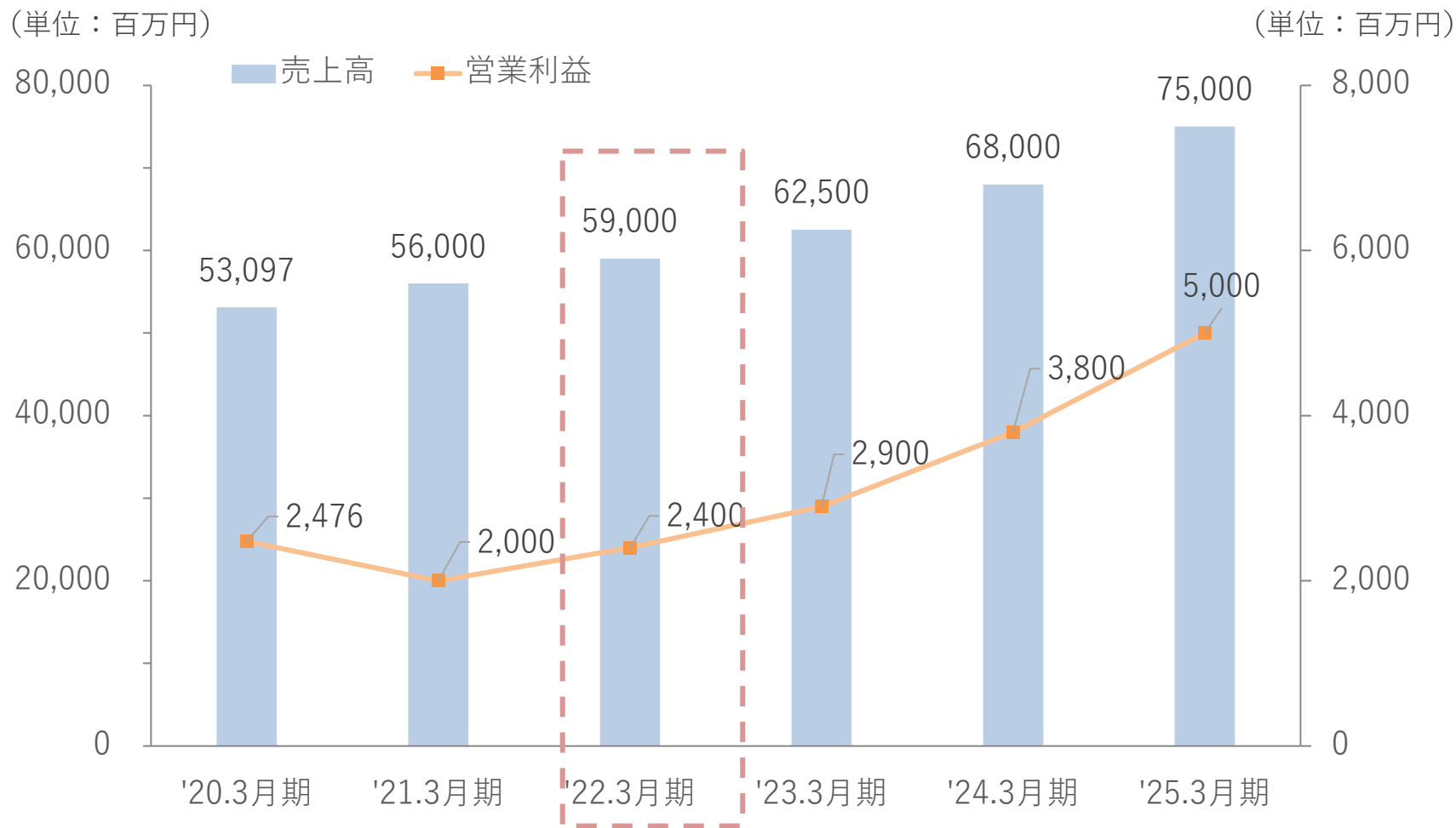
施策

経営資源の再配置を行う  
財務体質を強化し、積極的な投資を実行する

目標

グループ全体の発展と成長

## 5 中期経営計画サマリー（グループ連結業績推移）



≫ 2020年5月にレオハウスの全株式を譲渡しており、'20.3月期の同社の実績（売上高352億円・営業損失3.5億円）は比較のために除外。

**5** 中期経営計画サマリー（最終年度売上高目標）

（単位：百万円）

売 上 高	'25.3月期 計画	'20.3月期 実績 ※	増減率	'20.3月期 実績
ク リ ク ラ 事 業	20,000	13,375	+ 49.5%	13,375
レ ン タ ル 事 業	17,000	14,808	+ 14.7 %	14,808
建築コンサルティング事業	13,000	5,251	+ 147.6 %	5,251
住 宅 事 業	11,000	10,975	+ 0.2 %	46,101
美 容 ・ 健 康 事 業	11,000	8,764	+ 25.5 %	8,764
新規事業・M & A	3,000	-	-	-
消 去 調 整 他	-	▲ 80	-	▲ 80
合 計	75,000	53,097	+ 41.2 %	88,222

※ 2020年5月にレオハウスの全株式を譲渡しており、'20,3月期の同社の実績は比較のために除外

## 5 中期経営計画サマリー（最終年度営業利益目標）

※ カッコ内の数字は売上高に対する営業利益率です。

（単位：百万円）

営業利益	'25.3月期 計画	'20.3月期 実績 ※	増減率	'20.3月期 実績
ク リ ク ラ 事 業	2,100 (10.5 %)	1,030 (7.7 %)	+ 103.7 % (+ 2.8 pt)	1,030 (7.7 %)
レ ン タ ル 事 業	2,000 (11.8 %)	1,844 (12.5 %)	+ 8.42 % (▲ 0.7 pt)	1,844 (12.5 %)
建築コンサルティング事業	1,600 (12.3 %)	730 (13.9 %)	+ 119.0 % (▲ 1.6 pt)	730 (13.9 %)
住 宅 事 業	300 (2.7 %)	▲ 187 (▲ 1.7 %)	- (+ 4.4 pt)	▲ 545 (▲ 1.2 %)
美 容 ・ 健 康 事 業	500 (4.5 %)	125 (1.4 %)	+ 298.3 % (+ 3.1 pt)	125 (1.4 %)
全 社 費 用 等 (新規事業・M&Aを含む)	▲ 1,500	▲ 1,067	-	▲ 1,067
合 計	5,000 (6.7 %)	2,476 (4.7 %)	+ 101.9 % (+ 2.0 pt)	2,118 (2.4 %)

※ 2020年5月にレオハウスの全株式を譲渡しており、'20,3月期の同社の実績は比較のために除外



## 6. 補足資料 会社概要と事業紹介

---

## 6 会社概要

(2021年3月末 現在)

商号	株式会社ナック (NAC CO., LTD.)
所在地	東京都新宿区西新宿一丁目25番1号 新宿センタービル
設立	1971年5月20日
代表者	代表取締役社長 吉村 寛
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ クリクラ事業：宅配水「クリクラ」及び次亜塩素酸水溶液「ZiACO(ジアコ)」の製造・販売</li> <li>■ レンタル事業：ダストコントロール商品と害虫駆除器のレンタル・販売及び定期清掃業務等</li> <li>■ 建築コンサルティング事業：地場工務店に対する建築関連ノウハウ商品及び建築部資材の販売と施工、コンサルティング業務並びに住宅フランチャイズ事業</li> <li>■ 住宅事業：戸建注文住宅の建築請負、分譲住宅の販売及びそれに付随する金融・保険業務</li> <li>■ 美容・健康事業：化粧品・健康食品及び美容材料等の通信販売</li> </ul>
連結子会社	<p>株式会社アーネスト (ビルメンテナンス事業)          株式会社 JIMOS (美容・健康事業)          株式会社ベルエアー (美容・健康事業)          株式会社ジェイウッド (住宅事業)          ナックススマートエネルギー株式会社 (省エネ商材販売・工事)          株式会社ケイディアイ (住宅事業)          株式会社ナックライフパートナーズ (金融・福利厚生)          株式会社国木ハウス (住宅事業)          エースホーム株式会社 (住宅フランチャイズ事業)          吉慕詩股份有限公司(台湾) (美容・健康事業)</p>
従業員数 (正社員)	連結1,583名 (パートタイマー、アルバイトは除く)
資本金	6,729,493,750円
発行済株式数	24,306,750株 (一単位：100株)
株主数	16,737名 (自己名義株式を除く総株主数)

6 主な指標（連結ベース）経営指標から

	'21.3月期 実績	'20.3月期 実績	増減
期中平均発行済株式数	22,405,080 株	22,405,194 株	+ 143株
1株当り純資産（BPS）	950.59 円	881.83 円	+ 68.76 円
1株当り当期純利益 （EPS）	82.02 円	22.94 円	+ 59.08 円
自己資本比率	52.1 %	42.6 %	+ 9.5 pt
自己資本純利益率 （ROE）	9.0 %	2.6 %	+ 6.4 pt
1株当り配当金	44 円	22 円	+ 22 円
配当性向	53.6 %	95.9 %	▲ 42.3 pt
純資産配当率	4.8 %	2.5 %	+ 2.3 pt

## 6 沿革

1971年 5月	東京都町田市に株式会社ダスキン鶴川設立	
1977年 8月	株式会社ナックに商号変更	
1995年 9月	日本証券業協会（現：JASDAQ）に店頭登録	
1997年 1月	東京証券取引所市場第二部上場	
1999年 9月	東京証券取引所市場第一部指定	
2001年 12月	宅配水事業「クリクラ」に進出	
2002年 2月	連結子会社（現：株式会社レオハウス）で住宅事業に進出	
2010年 3月	創業 40周年、売上高 500億円達成	
2012年 3月	株式会社 アーネストを子会社化	
2013年 7月	株式会社 JIMOSを子会社化、株式会社ジェイウッドを子会社化	
2015年 4月	クリクラ本庄工場新設	
2015年 9月	株式会社エコ&エコ（現：ナックススマートエネルギー株式会社）を子会社化	
2016年 5月	株式会社ケイディアイを子会社化	
2016年 12月	株式会社ベルエアーを子会社化	
2017年 4月	株式会社suzukuriで住宅事業を開始	
2017年 6月	株式会社国木ハウスを子会社化	
2020年 2月	エースホーム株式会社を子会社化	
2020年 5月	株式会社レオハウスの全株式を譲渡	

## 6 各事業の市場におけるポジショニング

### クリクラ事業

- 製造本数**業界No.1** (約1,800万本)
- **業界初**のHACCP認証、ecoマークを取得
- **業界初**の研究開発専門センター設立

### レンタル事業

- ダスキンフランチャイズディーラー**売上No.1** (約2,000社中)
- **日本初**の厚生労働省承認 飲食店向け害虫駆除器「with」
- 2012年3月よりビルメンテナンス事業を手がける株式会社アーネストを子会社化
- 2018年8月に株式会社ダスキンと資本業務提携契約を締結

### 建築コンサルティング事業

- ナック会員工務店 **約7,000社**
- 地場工務店向け「受注促進」「原価低減」支援事業
- 太陽光発電システム、スマートハウス商材などの卸販売
- 2015年9月より省エネ商材販売・工事を手がけるナックスマートエネルギー株式会社を子会社化
- 2017年4月より異業種との提携を展開する住宅事業を展開する株式会社suzukuriを子会社化 (2020年9月に吸収合併)
- 2020年2月より住宅フランチャイズ事業を展開するエースホーム株式会社を子会社化 (2021年4月より株式会社ジェイウッドに吸収合併)

### 住宅事業

- 2013年7月より自然素材住宅を手がける株式会社ジェイウッドを子会社化
- 2016年5月より首都圏を中心に分譲・注文住宅を手がける株式会社ケイディアイを子会社化
- 2017年6月より北海道で住宅事業を展開する株式会社国木ハウスを子会社化

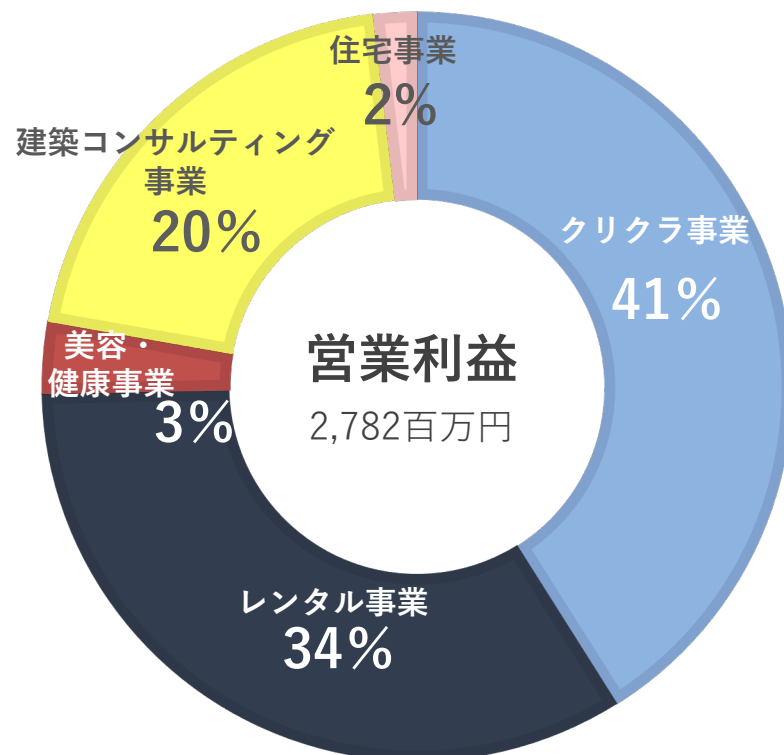
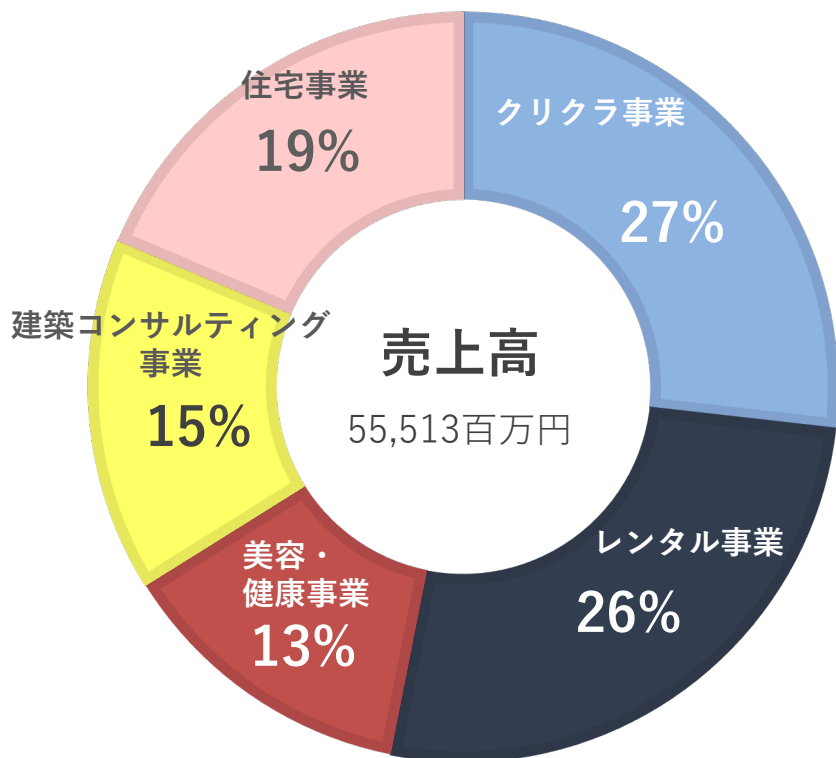
### 美容・健康事業

- 2013年7月、株式会社 JIMOS の子会社化により美容・健康事業参入
- 40~60代の女性を中心とした層に対する、化粧品等の通販事業
- 2016年12月より栄養補助食品 (サプリメント) を手がける株式会社ベルエアーを子会社化

## 6 売上高・営業利益構成比（'21.3期実績）

- クリクラ事業
- レンタル事業
- 美容・健康事業
- コンサル事業
- 住宅事業

- クリクラ事業
- レンタル事業
- 美容・健康事業
- コンサル事業
- 住宅事業



売上高営業利益率

※本社費は除外しています

クリクラ事業	レンタル事業	建築コンサルティング事業	美容・健康事業	住宅事業	全社
10.9%	9.1%	9.5%	1.7%	0.7%	5.0%

## 6 セグメント別営業利益の推移

» 安定したレンタル、クリクラ、建築コンサルティングを基盤に、積極的に投資をして成長を目指す。

